

平成 27 年度岡山市市民協働推進モデル事業報告書

実施団体	団体名	NPO 法人 だっぴ (担当者 河原 彩花)															
	合同実施団体	(* 協議体・実行委員会等で実施した場合、構成団体をすべて記載してください。)															
協働した岡山市の 担当課等と担当者	課名	教育委員会事務局指導課		電話	086-803-1592												
	担当者 2 名	職名	室長	職名	指導副主査												
		氏名	松浦敏之		氏名	永井正博											
	課名	教育委員会生涯学習課		電話	086-803-1606												
担当者	職名	課長補佐															
	氏名	安東信哉															
事業の名称	中学生が地域の大学生、保護者と交流するキャリア教育授業のモデル化事業																
<p>本事業により解決を目指した課題とその成果</p> <p>※アンケートなどあれば添付してください。</p>	<p>1、解決を目指した課題</p> <p>岡山市では、今回対象とする中学生世代に様々な課題を抱えている。2015 年に 12 年間続いた全国少年非効率ワーストから外れたものの、依然として非効率は高くその約半数は中学生が占めている非効率。100 人に 1 人が不登校という現状。また「地域の大人との交流がない」と感じている中学生は 77.4%(参考：全国学力・学習状況調査)にも上り、地元離れの要因のひとつとなっていることが推測される。上記の諸機関の調査結果より、解決を目指す課題として、以下 4 点を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の他者とのつながりや関わりの不足 ・子どもたちの体験的な活動の不足 ・中学生の不登校率の改善または予防 ・中学生の非行率の改善または予防 <p>※27 年度岡山市市民協働推進モデル事業の実施決定条件として、中学校での現状をより理解するため岡山市の中学校 36 校に対して聞き取り調査を実施した。</p> <p>また市民ニーズとして、以下 2 点の課題解決を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の地元への定着・愛着増加⇒若者の地域参画 ・非効率改善⇒安心安全な地域社会の形成 <p>2、成果</p> <p>本年度、岡山市内 1 校で実施した。</p> <p>《参加者数》</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中学生(2 年生)</td> <td style="padding-left: 20px;">: 109 名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">大学生(キャスト)</td> <td style="padding-left: 20px;">: 39 名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">おとな</td> <td style="padding-left: 20px;">: 54 名</td> <td style="padding-left: 20px;">計</td> <td style="padding-left: 20px;">202 名</td> </tr> </table> <p>大学生が参加した意味はとて大きく、雰囲気はほぐれ中学生も大人も素直に語り合える場をつくることができた。「学校が心配していた教員への負担も少なく、短い授業時間の中で大きな効果があった。来年度も実施してほしい」と学校側からコメントをいただいた。中学生のための場だが、大人や大学生にも効果のある機会になった。</p>					中学生(2 年生)	: 109 名			大学生(キャスト)	: 39 名			おとな	: 54 名	計	202 名
中学生(2 年生)	: 109 名																
大学生(キャスト)	: 39 名																
おとな	: 54 名	計	202 名														

【中学生】

約2時間の授業の中で集中力がきれてしまう生徒もいたが、話している人の話を前のめりで聞き入り 自らの考えを伝えようと努力する姿が見られた。

Q, 今日の授業に参加してよかったですか？

とてもよかった・良かった 98%

Q, 自分の将来に希望を持てる

とてもそう思う・そう思う 【実施前】75% → 【実施後】98%

Q, 自分の行動により、自分の周囲の状況を変えられるかもしれない

とてもそう思う・そう思う 【実施前】61% → 【実施後】99%

Q, 社会をよくするため、私は社会や社会の問題に関わっていきたいと思う

とてもそう思う・そう思う 【実施前】72% → 【実施後】97%

※生徒の変化については、中学生だっぴ実施の前後にアンケートを実施した集計結果の一部です。

詳細は別資料「中学生だっぴアンケート2015」をご覧ください、

*中学生感想

「大人の方々や大学生の方々が真剣に話を聞いてくれたのが楽しかった」

「大人の人達はいろんな経験をして大人になったということが分かった」

「とにかくめっちゃ良かったです！何もかもが新しい発見で良かった」

【おとな】

あまり接する機会のない中学生や大学生と話すことで、次世代への理解が深まり 自己を見つめ直す機会となった。地域のつながりの機会になることを期待する声も聞かれた。

○今日の授業に参加してよかったですか？

とてもよかった・良かった 98%

*おとな感想

「この子達(中学生)に将来を預けてもいい」

「家で話せない内容かもしれないが、周りの大人に話す事ができるのはいい経験」

「中学生に勉強する意味を教えていただいた。もう、おやじですが” なりたい大人” を目指したいです。」

【キャスト(大学生)】

岡山県内の様々な大学から参加。大学生も普段接する事のない中学生・おとなと話す中で、学んだ事は多いよう。

○今日の授業に参加してよかったですか？

とてもよかった・良かった 98%

*キャスト感想

「勉強会から本番まで収穫の多いものばかりだった」

「大人の話だけではなく、中学生からも新たに、こんな考え方もあるのかと思わせてもらいました。」

「だっぴを通していろんな人との出会いがありました。本当に経験することができて良かったです！」

それぞれの立場での参加者に上記のような成果があった。

普段接点のない人と実際会って話すことで「体験的な」学びの機会を創出し、だっぴプログラムの中で多世代間の「つながりや関わり」を深めることができた。

今後も継続していくことで、中学校や中学生と地域の「つながり」ができ、学校と地域が連携して次の世代を担う人材を育てる土壌づくりになることを期待する。地域で育てる土壌ができれば、声かけなどにより非行や不登校を未然に防いだり、子どもや親を孤立させない環境づくりにつながるのではないだろうか。

<p>市と協働した内容 と協働の効果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 団体が果たした役割 <ul style="list-style-type: none"> ・実施校との打合せ ・だっぴプログラムの作成 ・キャスト募集広報 ・キャスト向け説明会、講習会の実施 ・おとな向け説明会 ・当日の運営 ・アンケート集計 ・市立中学校への聞き取り調査 2. 岡山市の担当課等が果たした役割 <ul style="list-style-type: none"> ・実施校募集の説明の場をつくる ・キャスト募集 ・市立中学校へのニーズ調査依頼 3. 協働した効果 <p>本年度の「中学生だっぴ」実施は、教育委員会から中学校への呼びかけなしには実現しなかった。また、大学生キャストの質と量の担保は、当法人の若い世代との人脈。効果のあるプログラムは、今まで培ったノウハウがあったからこそ実現させることができた。</p> <p>個々では実現できなかった、スピードと成果をあげることができたと感じている。</p> <p>今後も協働という対等な関係で、持続できる体制やプログラムを協創していきたい。</p>
<p>事業の内容</p>	<p>中学生と地域の大人や大学生が生き方や仕事、勉強の意味などについて語り合う交流会を以下の要領で開催すると共に、実施結果を教育関係者に広く啓発する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大人としての保護者・地域の大人との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・上記交流会の大人として、中学生の親である保護者を中心に呼びかける ・保護者から、子どもに会って欲しい地域の大人への参加依頼 ・参加するおとなに向けての事前説明会を開催した。 2. 大学生との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・地元の大学生に呼びかけ、すこし未来の先輩として中学生のメンターの役割で参加。 ・また大学生は、事前に説明会と講習会に参加し、中学生に学びと気づきが起きるような基本的な知識と技術・心構えを学んだ。 3. 広報 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を担当する教員があつまる場での PR ・事業の実施結果は、報告書として整理し HP 等で公開する 4. 当日のプログラム <p>【開催日時】平成 28 年 1 月 16 日(土) 9:00~11:20</p> <p>【場所】岡山市立岡山中央中学校</p> <p>【対象者】</p> <p style="margin-left: 20px;">中央中学校 2 年生 : 109 名</p> <p style="margin-left: 20px;">大学生キャスト : 39 名</p> <p style="margin-left: 20px;">おとな(保護者) : 54 名</p> <p>【プログラム】 全 140 分</p> <p style="margin-left: 20px;">9:00~9:10 オープニング アイスブレイク</p> <p style="margin-left: 20px;">9:10~9:55 トークセッション 1 休憩</p> <p style="margin-left: 20px;">10:03~10:53 トークセッション 2</p> <p style="margin-left: 20px;">10:53~11:20 クロージング</p>

	落とし込み・感想共有 アンケート記入 5. 取組内容の普及活動 事業の取組内容を県内に広くPRし、キャリア教育に取り組む教育現場に参考としてもらうために、活動内容のパンフレットを作成し、教育委員会と協力して必要とする学校等に配布する。													
事業実施の体制・実施者名	1. 総括責任者 柏原 拓史 (代表理事) 2. 個別事業責任者 河原 彩花 (事務局) 3. その他事業従事者 大学生リーダー 紺谷 遼太郎、松崎真祐子													
事業実施経過	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月</td> <td>打合せ 中学生だっぴ実施に向けて、時期・規模・大まかなねらい</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>PTA 説明会 実施中学校 PTA の役員・中学校・だっぴの三者で検討</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>打合せ 具体的なスケジュール、実施体制(大人) キャスト募集 説明会、講習会を開催 大人参加依頼 地域のおとなや保護者への参加声かけ</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>おとな説明会 参加するおとなに向けて、事前説明を行う(3回) 情報共有 メールや電話で進捗確認や打合せを行う キャスト勉強会 各グループで当日に向けた練習・勉強を行う</td> </tr> <tr> <td>1月 16日</td> <td>プログラム完成 詳細な動きを学校と確認 中学生だっぴ実施 成果報告 アンケートを集計し報告</td> </tr> </tbody> </table>		月 日	実施内容	5月	打合せ 中学生だっぴ実施に向けて、時期・規模・大まかなねらい	6月	PTA 説明会 実施中学校 PTA の役員・中学校・だっぴの三者で検討	11月	打合せ 具体的なスケジュール、実施体制(大人) キャスト募集 説明会、講習会を開催 大人参加依頼 地域のおとなや保護者への参加声かけ	12月	おとな説明会 参加するおとなに向けて、事前説明を行う(3回) 情報共有 メールや電話で進捗確認や打合せを行う キャスト勉強会 各グループで当日に向けた練習・勉強を行う	1月 16日	プログラム完成 詳細な動きを学校と確認 中学生だっぴ実施 成果報告 アンケートを集計し報告
月 日	実施内容													
5月	打合せ 中学生だっぴ実施に向けて、時期・規模・大まかなねらい													
6月	PTA 説明会 実施中学校 PTA の役員・中学校・だっぴの三者で検討													
11月	打合せ 具体的なスケジュール、実施体制(大人) キャスト募集 説明会、講習会を開催 大人参加依頼 地域のおとなや保護者への参加声かけ													
12月	おとな説明会 参加するおとなに向けて、事前説明を行う(3回) 情報共有 メールや電話で進捗確認や打合せを行う キャスト勉強会 各グループで当日に向けた練習・勉強を行う													
1月 16日	プログラム完成 詳細な動きを学校と確認 中学生だっぴ実施 成果報告 アンケートを集計し報告													
実施上で連携した団体とその内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>期待される役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NPO 法人 カタリバ</td> <td>キャスト運営体制・プログラムの実施体制の参考として視察</td> </tr> </tbody> </table>	名称	期待される役割	NPO 法人 カタリバ	キャスト運営体制・プログラムの実施体制の参考として視察									
名称	期待される役割													
NPO 法人 カタリバ	キャスト運営体制・プログラムの実施体制の参考として視察													
本事業を踏まえた、翌年度以後の予定	<p> <input checked="" type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施する予定。 <input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策として実施する予定。 <input checked="" type="checkbox"/> 翌年度も協働で実施する予定。 <input type="checkbox"/> その他 () </p> <p> 具体的な計画があれば記載してください。 28年度も引き続き、教育委員会との協働モデル事業として実施。 岡山市内5校を目標に実施し、「大規模校でのプログラム実施方法」「キャスト募集・育成」など、普及させていくための持続できる実施体制を整える。 </p>													

平成27年度市民協働推進モデル事業収支決算書

事業名	中学生が地域の大学生、保護者と交流するキャリア教育授業のモデル化事業
-----	------------------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金	実施団体	175,164	
	その他	0	
自己資金等合計(a)		175,164	
事業収入			
事業収入合計(b)		0	
その他収入		0	
その他収入合計(c)		0	
岡山市補助金決定額(d)		696,000	
収入合計(e) = (a)+(b)+(c)+(d)		871,164	

<支出>

費目		金額	内訳	証拠書類番号
	会議費	1,687	資料印刷費、館など	19~24
	備品費	2,268	文具など	37~38
	委託費	108,000	NPO法人カタリバプログラムサポート	18、44
	報償費	120,000	カメラマン、リーダー謝金	9~11
	旅費(交通費)	137,080	NPO法人カタリバ視察	16、17
	交通費	4,900	駐車場使用料	25~35
	消耗品費	39,679	スケッチブック、プロッキー	39~42
	印刷製本費	100,000	パンフレット、報告書作成	43
	使用料・賃借料	4,170	説明会・講習会会場、備品レンタル	12~15
事業実施経費合計(f)		517,784		
管理運営経費	人件費	318,500	担当スタッフ人件費	1~8
	交通費	34,880	担当スタッフ交通費	1~8
	消耗品費			
	印刷製本費			
	通信運搬費			
管理運営費合計(g)		353,380		
総事業費(h) = (f)+(g)		871,164		